

水産業・漁村の有する多面的機能の適切な発揮

水産業・漁村の有する多面的機能について、支援化の検討と国民によるコンセンサスの形成を促進しつつ、その適切な発揮に資する施策を推進。

45,110(33,137)百万円

1 ポイント

(1) 多面的機能の評価・支援化

- 水産業・漁村の多面的機能支援化事業 91(25)百万円
多面的機能の適切な発揮について、定量的な評価を踏まえ、具体的な対策・支援化の検討、ケーススタディによる検証を行うとともに、国民によるコンセンサスの形成を促進。

(2) 多面的機能の発揮関連対策

- 川上から川下に至る豊かで多様性のある海づくり事業 1,642(0)百万円
漁場環境の状況を把握するため「海健康診断」を行い、総合的視点から漁場環境保全の在り方を検討するとともに、赤潮・貝毒被害の抑制対策や廃棄物汚染の軽減対策を講じ、市民・漁業者による自主的な活動を活用して、森・川・海を通じた幅広い漁場環境保全を推進。
- 新漁村コミュニティ基盤整備事業 1,925(1,000)百万円
多面的機能を発揮するモデル漁村の構築を支援するため、体験学習施設、健康増進施設、U・J・Iターン者などを対象とした公営住宅等を整備。
- 漁村コミュニティ支援事業 165(0)百万円
多面的機能を発揮するモデル漁村づくりを円滑に推進するため、漁村における指導者の育成や漁村のPR等を支援。
- 都市漁村交流対策モデル事業 115(0)百万円
都市と漁村の共生・対流を円滑に促進するため、漁村における指導者を育成するための講習会や漁村のIT化を推進するための全国講習会等を開催。
- 豊かな海の森づくり事業（公共含む）
公共 30,489(24,762)百万円
非公共 684(350)百万円
水産動植物の生育・生息の場である藻場等について、海藻の移植等新たな手法の活用により、自然再生を踏まえた重点整備を行うとともに、CO₂の吸収機能を有する藻場の効果についてモニタリングを実施するほか、藻場の造成に資する新技術の開発を推進。
- 資源回復支援基盤整備事業（公共） 10,000(7,000)百万円
資源回復に資する休漁を行う漁業者を支援するため、これらの休漁漁業者が漁場環境保全創造事業に参画できる仕組みを創設するとともに、漁場環境の整備や種苗供給支援施設の整備等を一体的に実施。

2 事業実施主体 都道府県、市町村、漁連、民間団体等

3 補助率 1/2、定額等

【担当窓口課：水産庁企画課（03-3592-0731（直））】